

2018年3月期 決算説明会

2018年 5月 22日



2018年3月期の決算概要

※当資料の金額の記載は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

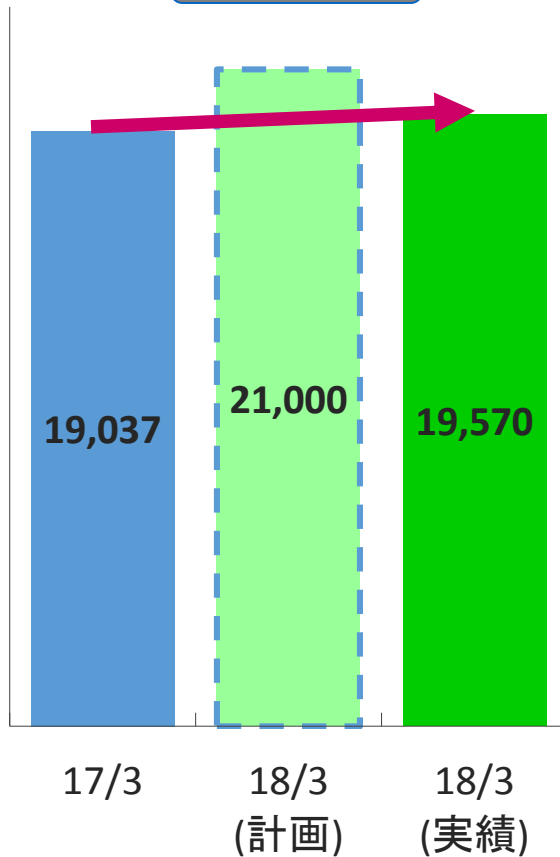
※2017年3月期の計画値は、2017年5月10日に発表した値を使用しています。

連結業績ハイライト

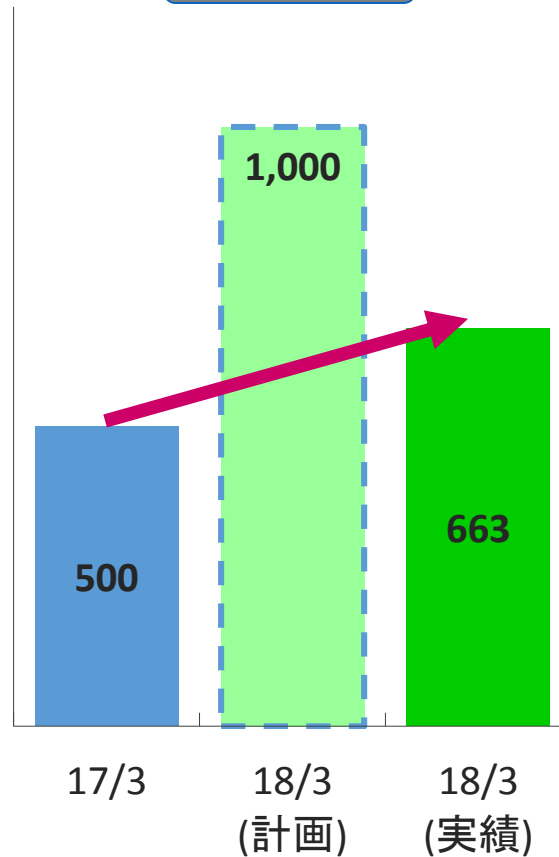
(単位: 百万円)

計画は未達ながら増収増益

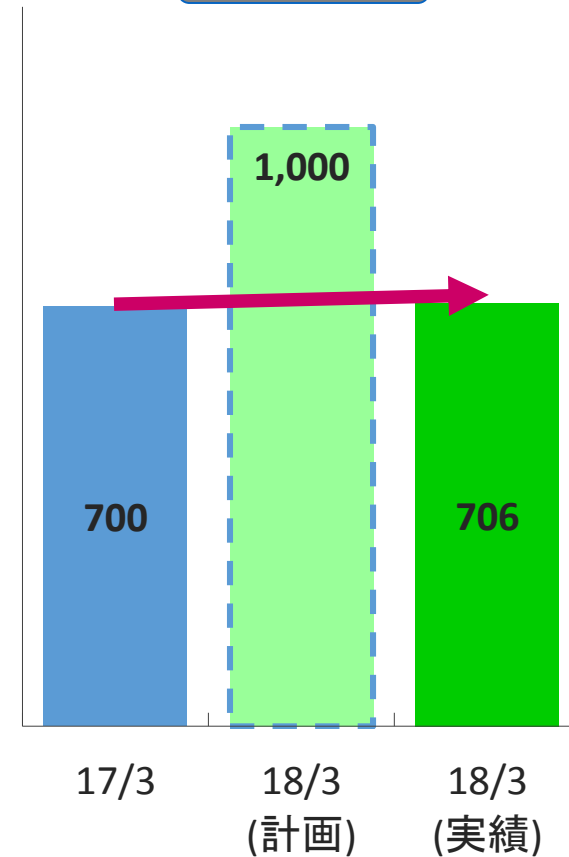
売上高



営業利益



経常利益



連結業績の詳細

(単位:百万円)

売上増と販管費の減少で営業・経常利益は増益となるも、
のれんの減損損失を計上し、当期純利益は前年比半減

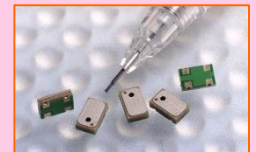
	17/3	18/3		計画差	前期差	前期比 (%)
	実績	計画	実績			
売上高	19,037	21,000	19,570	△1,429	532	2.8
粗利益	4,813	5,460	4,793	△666	△20	△0.4
粗利益率(%)	25.3	26.0	24.5	△1.5	△0.8	—
販売費及び一般管理費	4,313	4,460	4,130	△329	△183	△4.2
販管费率(%)	22.7	21.2	21.1	△0.1	△1.6	—
営業利益	500	1,000	663	△336	163	32.6
営業利益率(%)	2.6	4.8	3.4	△1.4	0.8	—
経常利益	700	1,000	706	△293	6	0.9
経常利益率(%)	3.7	4.8	3.6	△1.2	△0.1	—
親会社株主に帰属する当期純利益	279	650	130	△519	△148	△53.2
当期純利益率(%)	1.5	3.1	0.7	△2.4	△0.8	—
人員	492	—	494	—	2	—

※ 18/3の販管費にのれん償却192百万円計上(17/3は346百万円)

※ 18/3の特別損失に、2014年の買収により発生したのれんの残存価額の一部を減損損失として計上(253百万円)

資料：セグメント・プロダクト

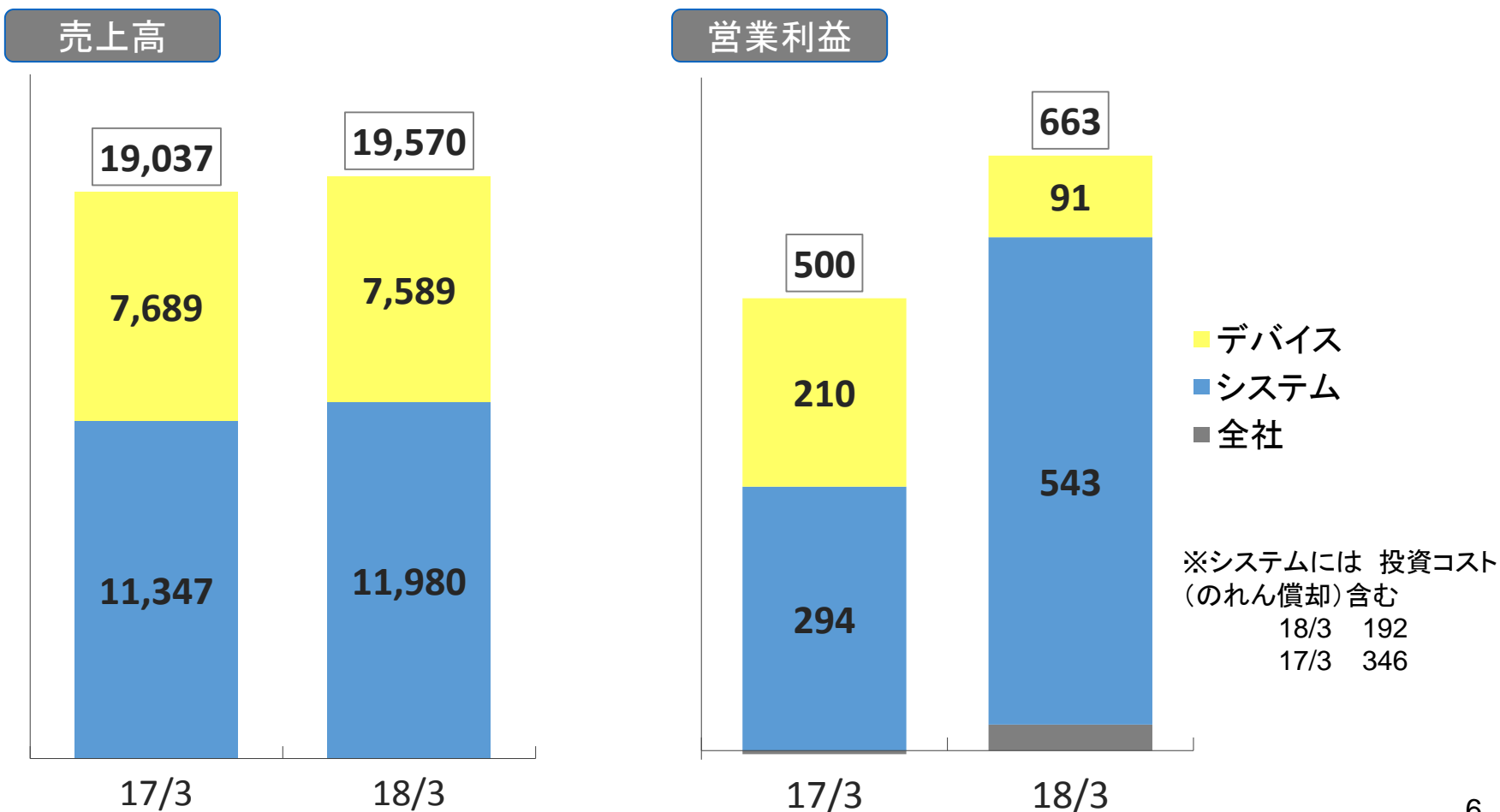
セグメント	プロダクト (商品類)	商品例
システム	セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・EAS(商品監視システム) ・映像監視システム ・ストアマネジメントシステム ・ディスプレイセキュリティシステム ・オフィス入退室管理システム ・防火システム
	その他 ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> ・メーリングシステム ・RFIDシステム ・ネットワークシステム
	カスタマ・ サービス	システムセグメント内の商品の 構築・保守・運用管理
デバイス	電子	<ul style="list-style-type: none"> ・アナログ半導体 ・通信用電子部品 ・各種センサー
	産機	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドレール ・ガススプリング ・ソフトクローズユニット ・電子錠



セグメント別業績(売上・営業利益)

(単位:百万円)

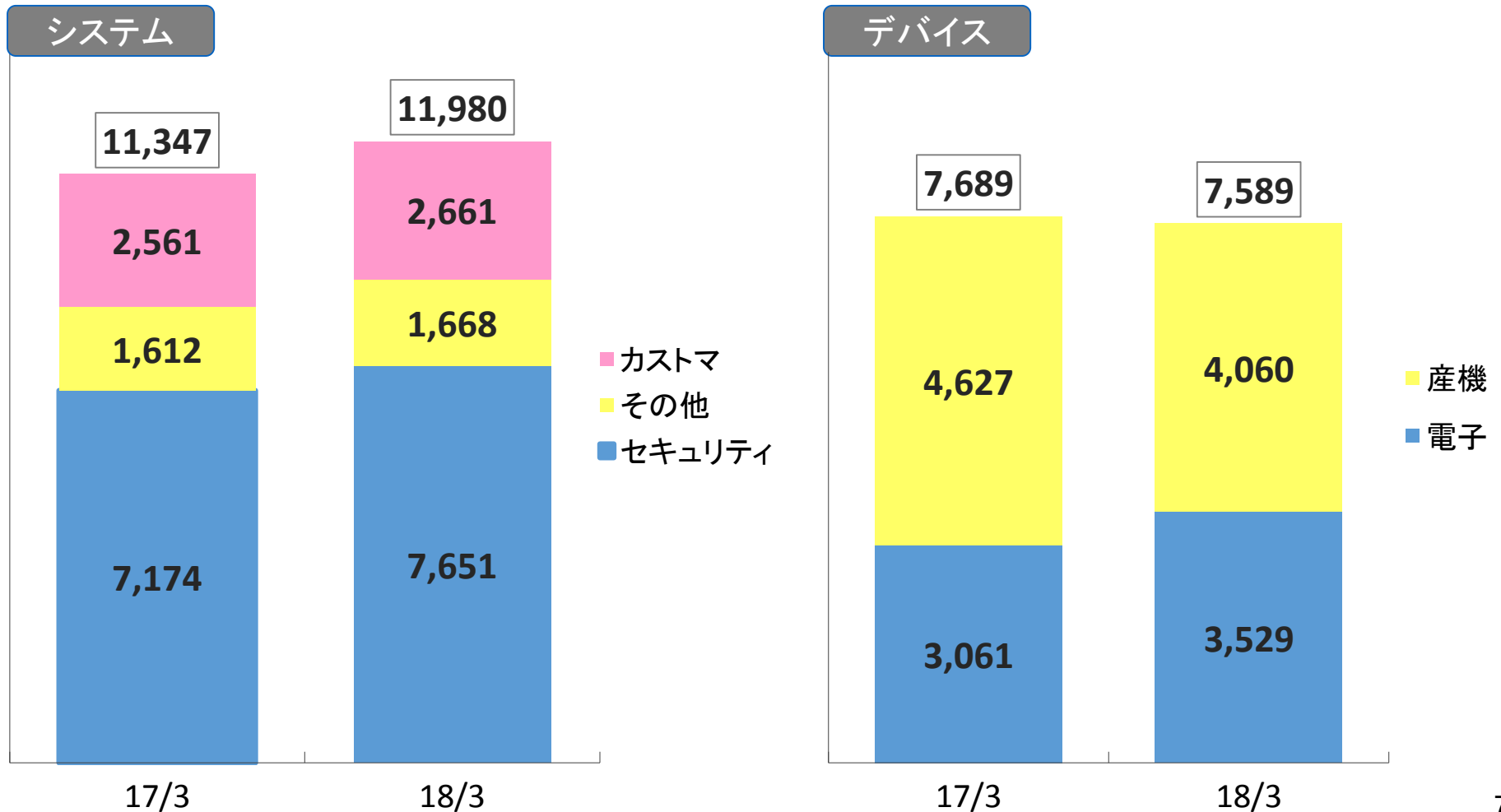
システム:セキュリティプロダクトが牽引し増収増益
 デバイス:産機プロダクトの苦戦により減収減益



プロダクト別業績(売上)

(単位:百万円)

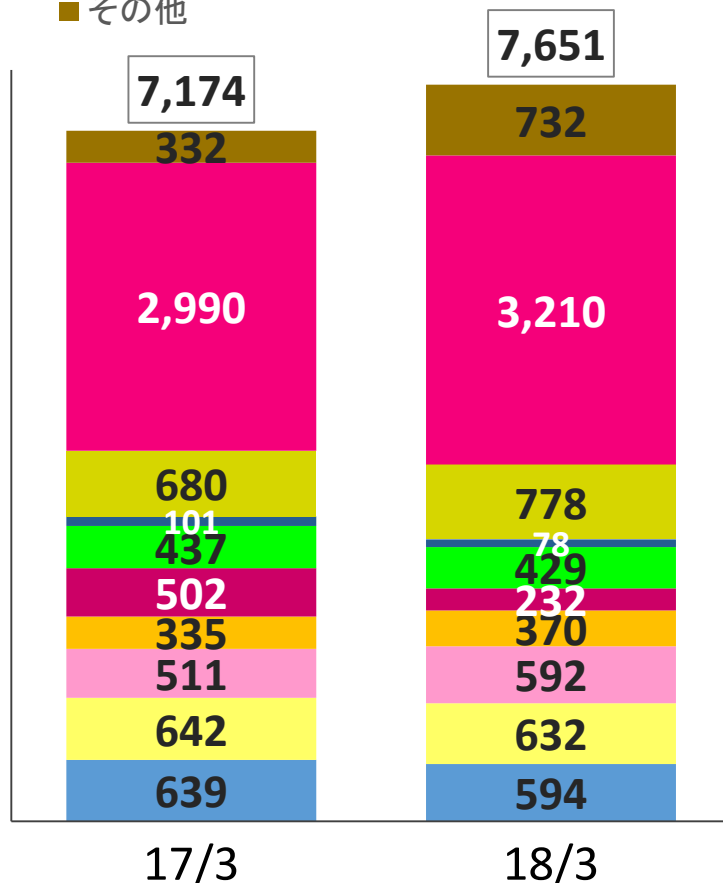
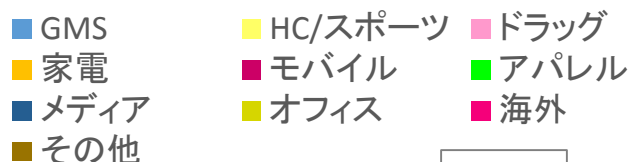
システム:全プロダクトで増収
デバイス:電子は増収となるも産機は苦戦



セキュリティプロダクトの業績

海外、オフィス市場での販売が好調

売上高(単位:百万円)



定性情報

- ◆ オフィスは外資系向け中心に増収継続
- ◆ 海外はTKFS*の一般工場等向けの防火システムが好調
- ◆ ドラッグは商品監視システムの更新需要により増収
- ◆ その他は地方銀行や商業ビル向け監視カメラにより増収

* : Takachiho Fire, Security & Services(Thailand)Ltd.



商品監視システム

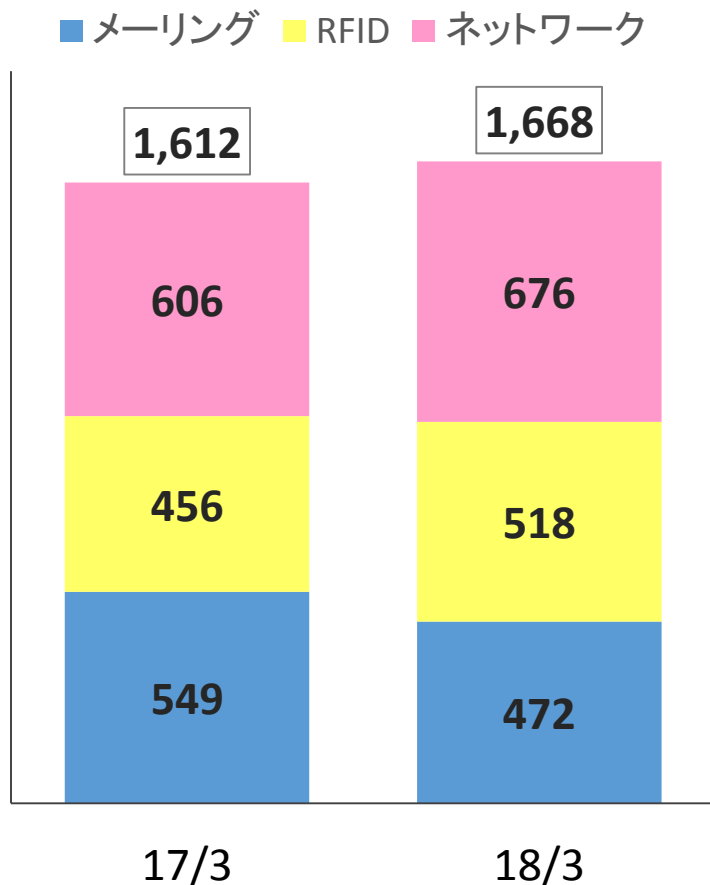


防火システム(泡消火設備)

その他ソリューションプロダクトの業績

RFID、ネットワークが増収

売上高(単位:百万円)



定性情報

- ◆ メーリングは新機種へのリプレースが遅れ減収
- ◆ RFIDは物流向けタグの販売が好調
- ◆ ネットワークは引き続きクラウド型無線LANが好調で、特にMSP*サービスが増収

*MSP: マネジメント・サービス・プロバイダーの略で、情報通信機器などの運用管理を代行する事業者のこと。



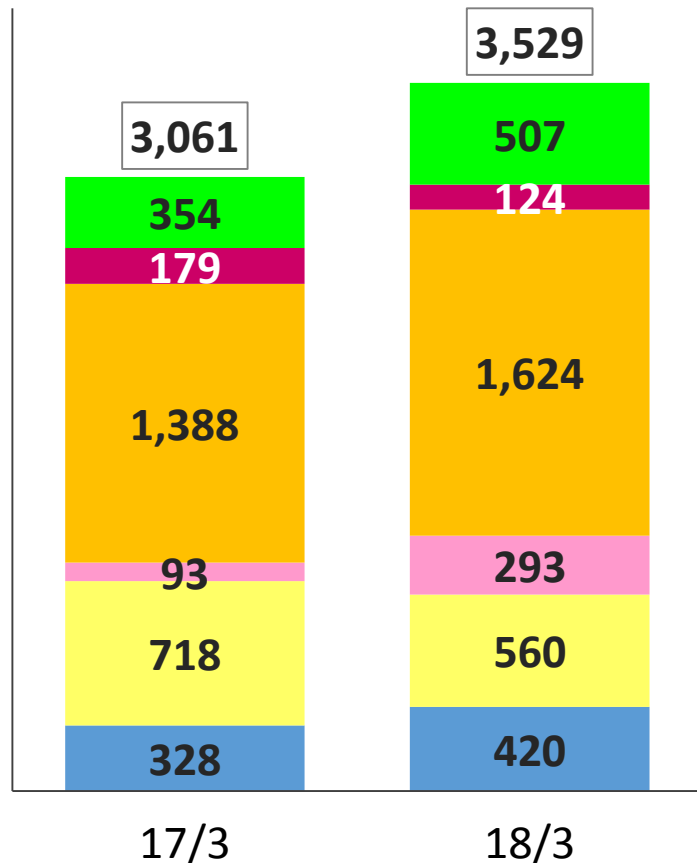
クラウド型無線LANシステム

電子プロダクトの業績

産業機器市場向けが牽引し7年度ぶりに増収

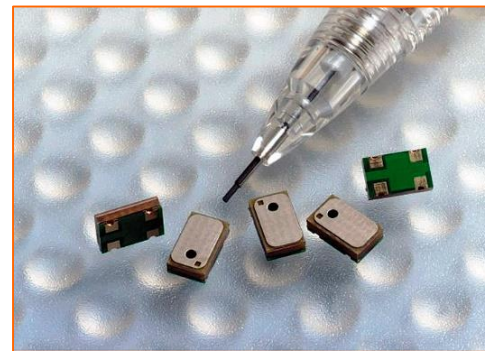
売上高(単位:百万円)

■ DA1 ■ DA2 ■ TT
■ II ■ アミューズメント ■ その他



定性情報

- ◆ 産業機器市場が増収、特に鉄道通信インフラ(新幹線トンネル内基地局)や半導体製造装置向けが好調
- ◆ 携帯電話向け(DA1)の販売が好調
- ◆ 自動車(TT)内の音声コントロール向けのシリコンマイクが好調
- ◆ その他は、半導体商社再編により二次店への販売権を獲得し増収



シリコンマイク

資料：電子プロダクトの市場区分

DA1 「デジタルアプライアンス1」

モバイル系情報家電 … 携帯電話、スマートフォン、デジタル・カメラ等

DA2 「デジタルアプライアンス2」

設置型情報家電 … 液晶テレビ、パソコン、プリンター等

TT 「テレマティクス」

車載用機器 … カーナビゲーション、車載カメラ等

II 「インダストリーインフラ」

産業機器 … 構内交換機、通信基地局、医療機器、放送設備、等

アミューズメント

… ゲーム機、遊技機等

その他

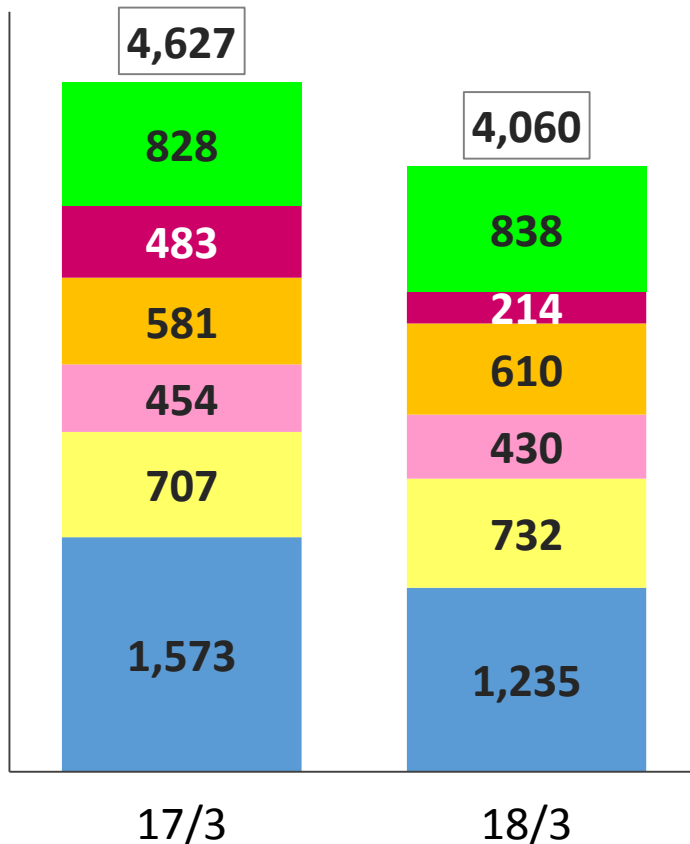
… パワー(電源関係)、代理店販売等

産機プロダクトの業績

自動機(ATM)、遊技向けが不調で減収

売上高(単位:百万円)

■ 自動機 ■ 住設 ■ OA/PPC
■ OF ■ 遊技 ■ その他



定性情報

- ◆ 中国向けATMへの販売不振が継続。電子決済拡大も一因
- ◆ 遊技向けは新規制が施行され市場縮小傾向
- ◆ 住設、OFで若干増収するもマイナス分をカバーするには至らず



スライドレール



ダンパー

資料：産機製品の市場区分

自動機

… ATM(現金自動預け払い機)、券売機、釣銭機、自動販売機等

住設 「住宅設備」

…システムキッチン、福祉機器、引き戸、昇降棚等

OA・PPC

…複合機、コピー機、プリンター、印刷機等

OF 「オフィスファニチャー(家具)」

…オフィス・医療用キャビネット、机、椅子等

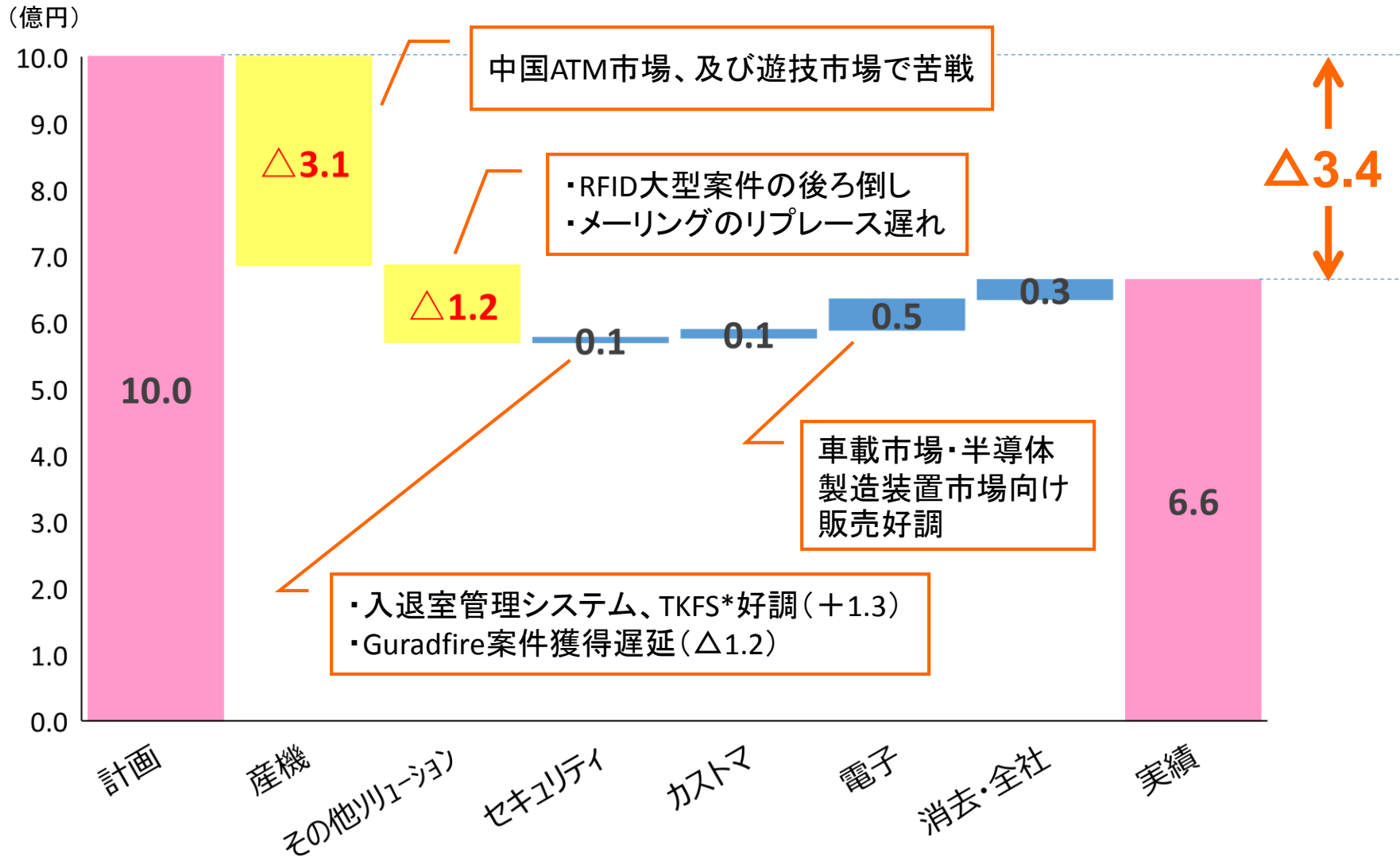
遊技

…パチンコ台間機、ゲーム機、アミューズメント設備等

その他

…上記以外で自動車・鉄道関連、半導体製造装置、サーバーラック、等

プロダクト別実績（営業利益）



*TKFS: Takachiho Fire, Security & Services(Thailand)Ltd.

貸借対照表の状況

(単位:百万円)

のれん償却・減損により無形固定資産が減少

	17/3	18/3	構成比(%)	増減
流動資産	15,699	15,679	84.5	△20
現金預金	6,163	6,169	33.2	5
受取手形及び売掛金	5,989	6,277	33.8	287
商品及び製品	2,330	2,416	13.0	85
固定資産	2,861	2,886	15.5	25
有形固定資産	304	302	1.6	△2
無形固定資産	1,147	729	3.9	△417
投資その他資産	1,409	1,854	10.0	445
資産合計	18,561	18,566	100.0	5
流動負債	4,034	3,887	20.9	△147
支払手形及び買掛金	2,749	2,640	14.2	△109
固定負債	691	719	3.9	28
純資産	13,834	13,958	75.2	124
負債純資産合計	18,561	18,566	100.0	5

主要経営指標・株主還元推移

(単位:百万円)

	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3
流動資産	15,458	15,558	16,261	15,609	14,992	15,699	15,679
（うち 現金及び預金）	6,492	7,207	7,212	5,637	5,758	6,163	6,169
固定資産	2,831	3,040	3,036	4,229	3,261	2,861	2,886
（うち のれん）	997	1,015	758	2,213	1,465	1,058	659
資産合計	18,290	18,599	19,297	19,839	18,253	18,561	18,566
流動負債	3,894	3,891	4,199	4,245	3,693	4,034	3,887
固定負債	894	840	754	646	716	691	719
純資産	13,501	13,867	14,343	14,947	13,844	13,834	13,958
負債・純資産合計	18,290	18,599	19,297	19,839	18,253	18,561	18,566
ROE	2.6%	4.1%	4.0%	4.0%	0.7%	2.0%	0.9%
ROA	1.9%	3.0%	3.0%	3.0%	0.5%	1.5%	0.7%
一株当り年間配当金	29円	24円	24円	24円	24円	24円	24円
配当性向	84.1%	42.2%	41.5%	39.9%	222.4%	80.9%	171.2%
DOE	2.1%	1.7%	1.7%	1.6%	1.6%	1.6%	1.6%
営業活動によるCF	1,813	746	487	1,255	371	898	143
投資活動によるCF	△1,738	214	△352	△2,650	349	△122	△435
財務活動によるCF	△524	△289	△205	△230	△591	△407	△218

(参考) 損益推移

(単位:百万円)

	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3
売上高	16,689	18,149	19,581	18,809	19,986	19,037	19,570
売上総利益	4,635	5,205	5,360	4,935	4,973	4,813	4,793
売上総利益率 (%)	27.8	28.7	27.4	26.2	24.9	25.3	24.5
販売費及び一般管理費	3,877	4,379	4,330	4,247	4,536	4,313	4,130
販管費率 (%)	23.2	24.1	22.1	22.6	22.7	22.7	21.1
(うちのれん償却)	36	216	254	264	434	346	192
営業利益	757	826	1,030	688	436	500	663
営業利益率 (%)	4.5	4.6	5.3	3.7	2.2	2.6	3.4
経常利益	827	1,007	1,133	865	410	700	706
経常利益率 (%)	5.0	5.6	5.8	4.6	2.1	3.7	3.6
親会社株主に帰属する当期純利益	344	557	565	589	103	279	130
当期純利益率 (%)	2.1	3.1	2.9	3.1	0.5	1.5	0.7
EBITDA	892	1,150	1,401	1,088	1,037	971	958

次期の見通し

※当資料の金額の記載は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

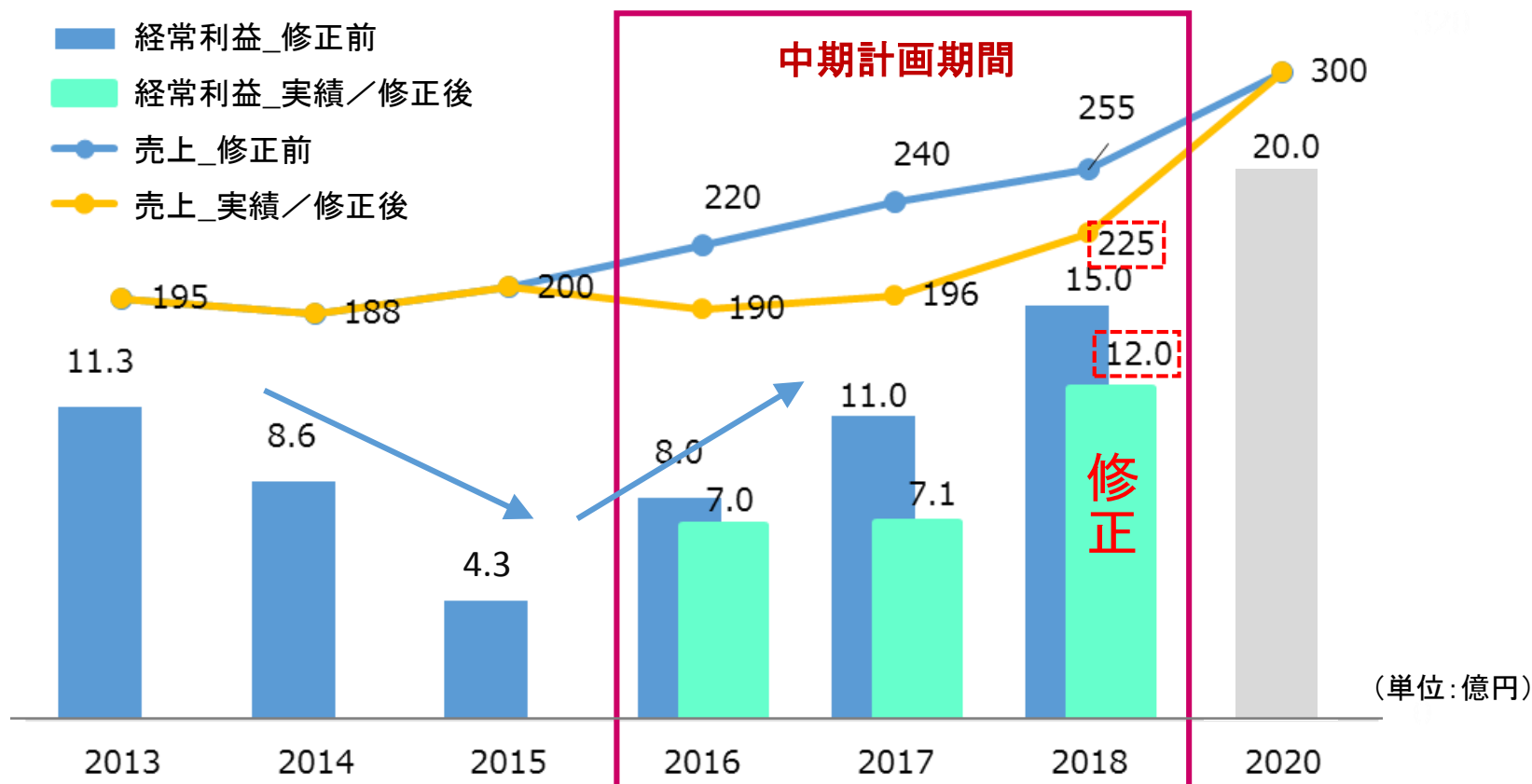
中期経営方針と経営目標

独自ソリューションの展開とグローバル事業の拡大による利益成長の実現

(変更前) 2018年度 売上目標 255億円、経常利益目標 15億円

(修正後) 2018年度 売上目標 225億円、経常利益目標 12億円

経常利益20億円を目指し、当中期計画でV字回復を達成する



事業ポートフォリオ (売上拡大シナリオ)

中計発表時の成長額に対し
 上回る
 下回る

投資
分野

グローバルビジネスの拡大

- 産機事業の海外展開 (中国・アメリカ)
- 東南アジア防火システム事業
- リテールセキュリティの中国、東南アジア

海外販売拡大
 +35億円 ⇒ **+17億円**

利益基盤の維持
 +4億円 ⇒ **△5億円**

- 国内商品監視システム、タグ販売
 - 入退室システム、カメラ
 - ネットワーク機器
 - インサーター、IJP
 - 半導体・部品販売
 - 国内スライドレール、ダンパー他
- 既存市場への既存商品の販売**

既存商品

投資
分野

新規ビジネスの創出

- RFIDシステム、特殊タグ
- ネット通販 (新規)
- 新規事業 (環境、クラウドサービス事業等)

新規事業推進
 +13億円 ⇒ **+2億円**

付加価値向上
 +16億円 ⇒ **+9億円**

- リテールRFIDシステム
 - 画像認識システム
 - 複合リテールソリューション
 - クラウド型無線LANシステム
 - デバイスソリューション
 - 産機プロダクト新商品
- 付加価値による競争力強化**

新商品

投資
分野

通期業績計画

(単位:百万円)

中期経営計画の最終年度として持続的な成長を目指す

(百万円)	18/3 実績	19/3 計画	前期差	前期比(%)
売上高	19,570	22,500	2,929	15.0
粗利益	4,793	5,800	1,006	21.0
粗利益率(%)	24.5	25.7	1.3	—
販売費及び一般管理費	4,130	4,600	469	11.4
販管费率(%)	21.1	20.4	△0.7	—
営業利益	663	1,200	536	80.8
営業利益率(%)	3.4	5.3	1.9	—
経常利益	706	1,200	493	69.8
経常利益率(%)	3.6	5.3	1.7	—
親会社株主に帰属する当期純利益	130	800	669	511.2
当期純利益率(%)	0.7	3.6	2.9	—

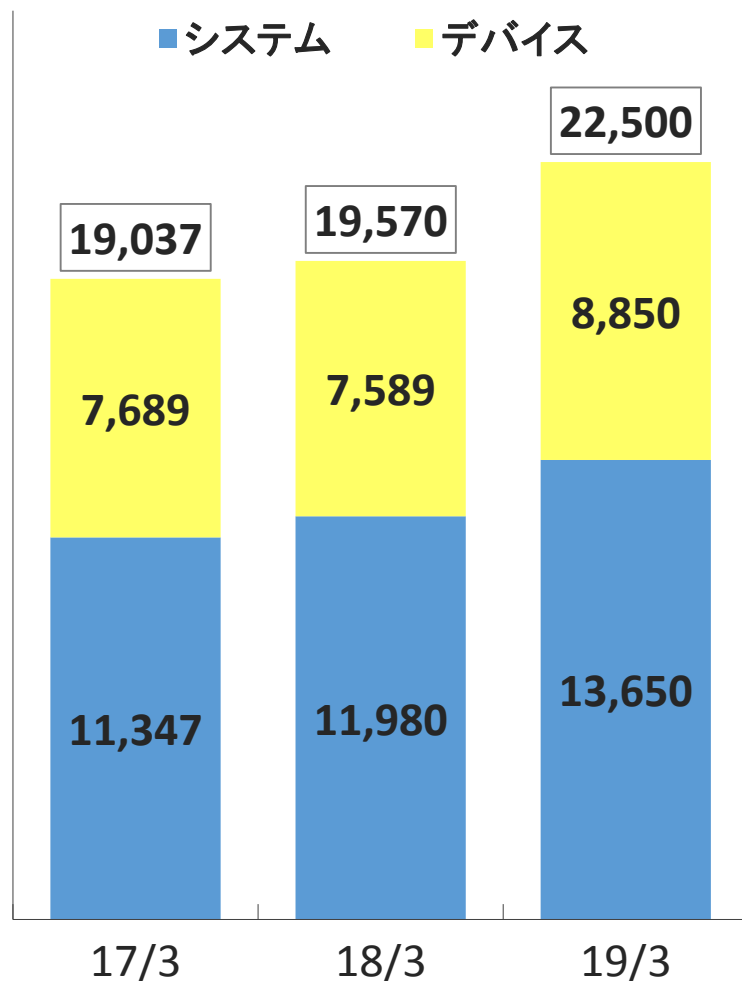
※ 19/3計画の販管費にのれん償却約138百万円計画(18/3実績は192百万円)

セグメント別販売計画

(単位:百万円)

両セグメントで増収を計画

売上



定性情報

- ◆ システム: 小売業向けセキュリティ複合ソリューション拡販、東南アジア防火システム案件強化、アパレル市場等でのRFIDの拡販を図る
- ◆ デバイス: 電子は産業機器市場を中心に拡販継続、産機はグローバルビジネスの攻略を進める

	18/3	19/3	前期比
売上高	19,570	22,500	2,929
営業利益	663	1,200	536
経常利益	706	1,200	493
親会社株主に帰属する 当期純利益	130	800	669

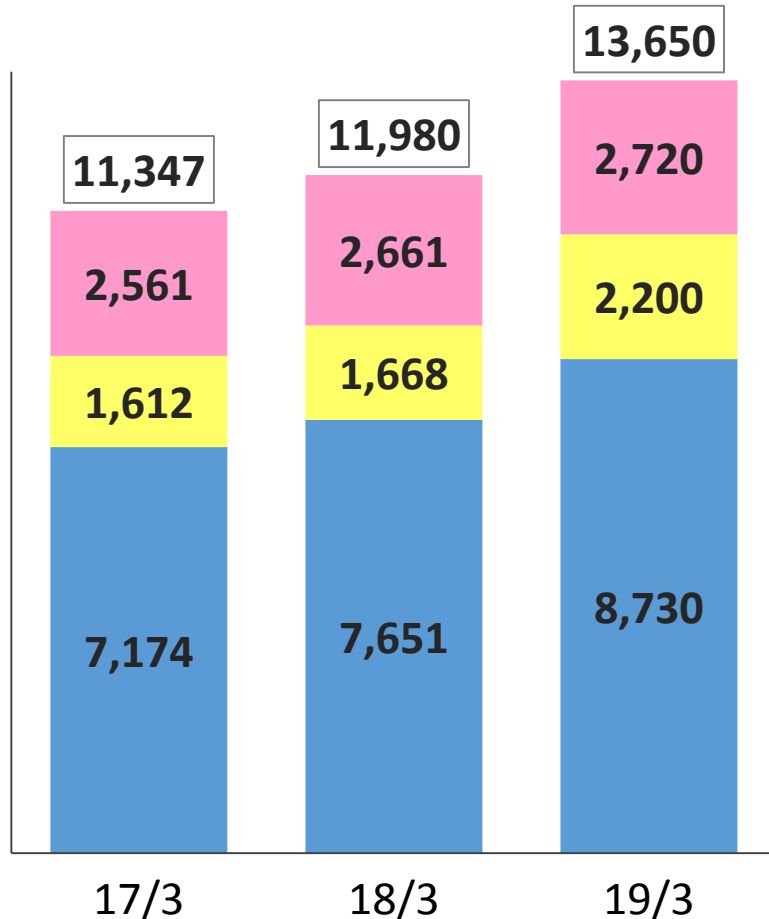
セグメント別販売計画の詳細

(単位:百万円)

全プロダクトで増収計画

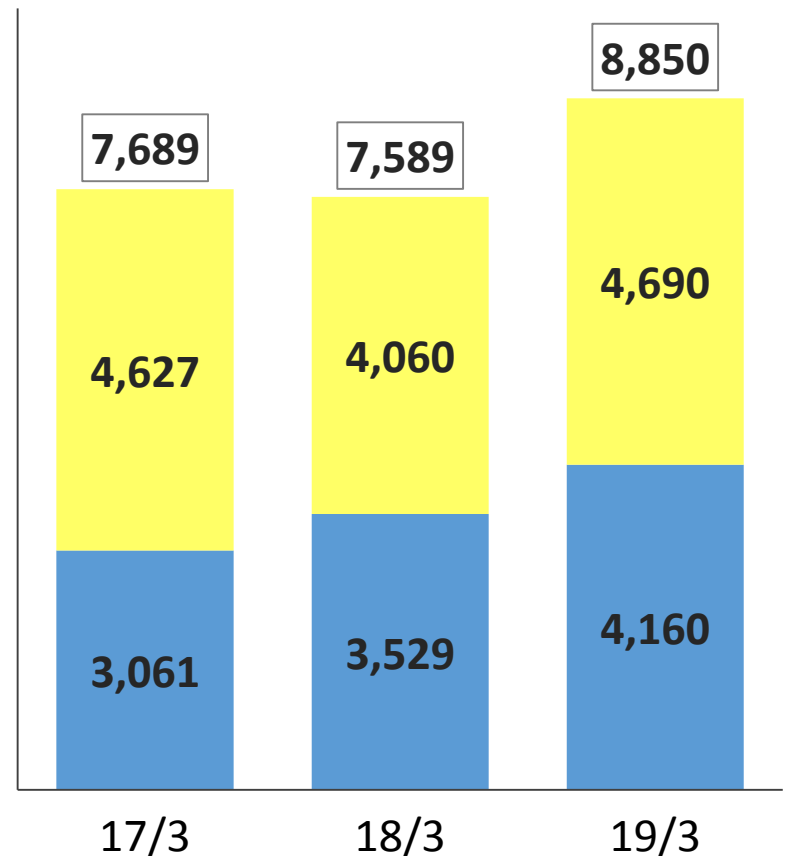
システム

■ セキュリティ ■ その他ソリューション ■ カスタム



デバイス

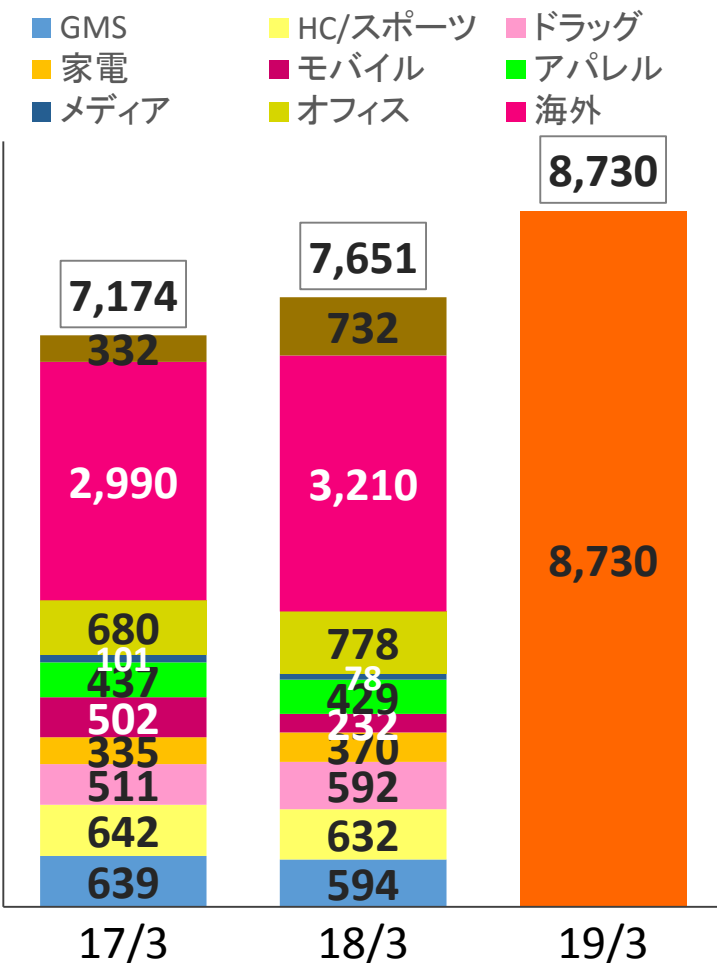
■ 電子 ■ 産機



セキュリティプロダクト販売計画

リテール重点市場への拡販、及びグローバル事業を推進

売上高(単位:百万円)



定性情報

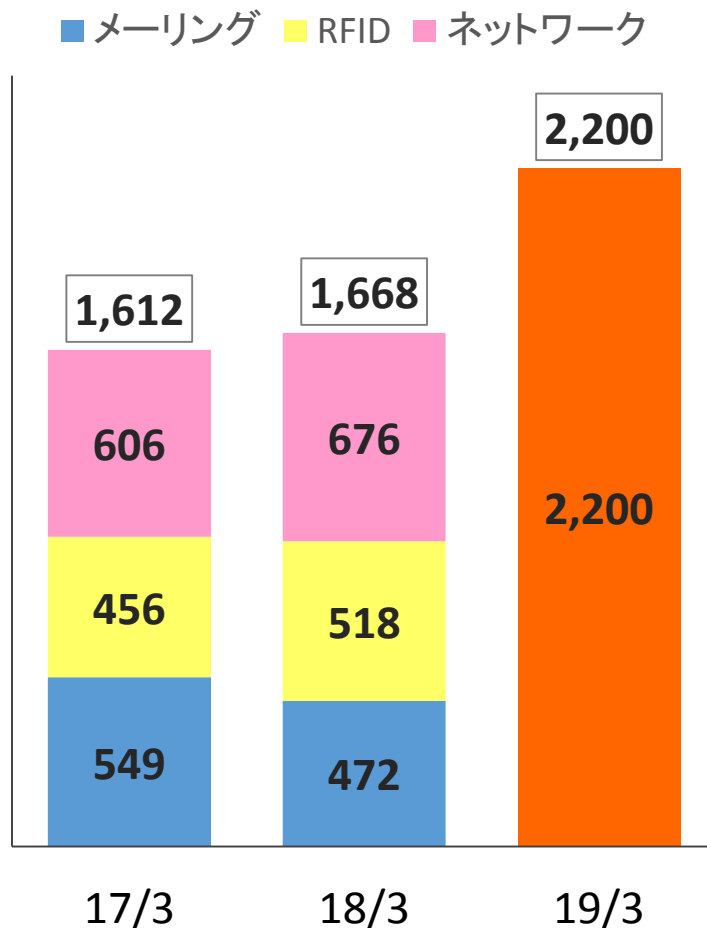
- ◆ 海外は原油価格回復に伴う石油コンビナート等の防火システム案件の取り込み強化
- ◆ 小売店向けでは、商品監視システム・画像認識等の店舗セキュリティに関わる複合ソリューションを拡販
- ◆ 商品監視システムは更新需要を的確に捉えリプレイス販売強化
- ◆ オフィスは外資系企業攻略継続に加え、国内企業向けに入退室管理により働き方改革を可能にする提案セールス強化

その他ソリューションプロダクト販売計画

RFID新規ビジネスの早期実績化と既存事業の拡大

売上高(単位:百万円)

定性情報



- ◆ メーリングは大型封入封函機のリプレース販売強化
- ◆ RFIDは国内アパレル市場、ヨーロッパ向けリネンタグの拡販に注力
- ◆ ネットワークはクラウド型無線LANの拡販継続(特にMSP*サービス)

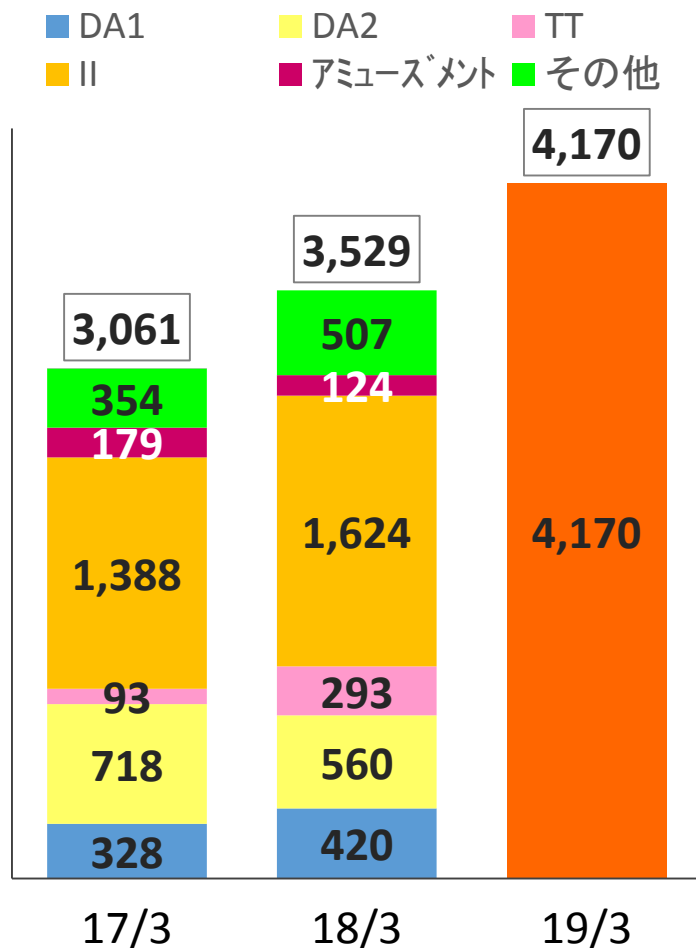
*MSP: マネジメント・サービス・プロバイダーの略で、情報通信機器などの運用管理を代行する事業者のこと。

電子プロダクト販売計画

産業機器市場を中心としたターゲット市場への販売強化

売上高(単位:百万円)

定性情報



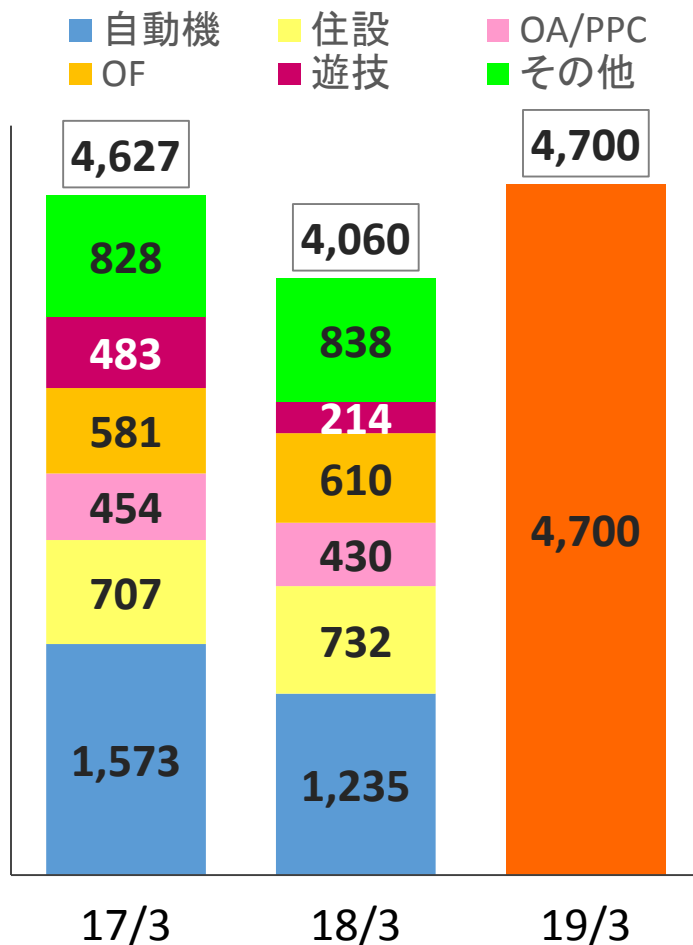
- ◆ 総務省が推進するICT基盤整備の一環として、鉄道通信インフラ(新幹線トンネル内基地局)向け販売継続
- ◆ 半導体製造装置に拡販
- ◆ 車載用のエンターテインメントを中心とした各種機器向けにシリコンマイク拡販
- ◆ ソリューションビジネスの早期実績化

産機プロダクト販売計画

グローバルビジネスと新市場開拓強化

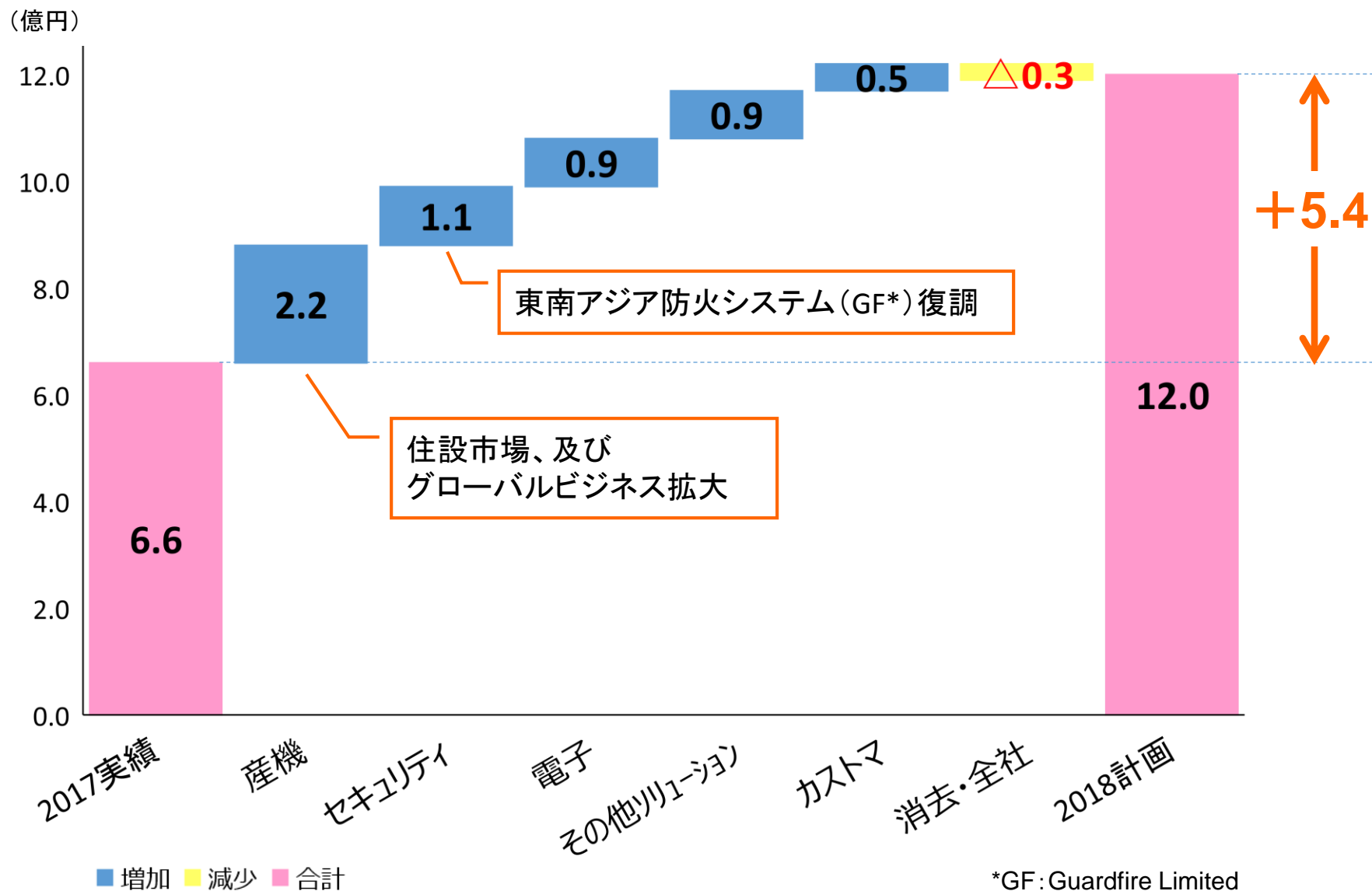
売上高(単位:百万円)

定性情報



- ◆ 住宅設備市場を中心に中国・欧州・北米で販売強化(Made in Japanを前面に)
- ◆ PPC市場向けにソフトクローズレールを拡販
- ◆ 自動車内装向けに新製品を投入し販売強化
- ◆ 新商品を製造設備・装置市場に販売強化

プロダクト別計画(営業利益)



ありがとうございました。



当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、
記載された将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。